

# 私達の長穂

文化の  
秋号

編集発行

住みよい長穂  
を作る協議会。

No.6 昭六・一一・二五

## ☆産業文化祭を

かりかえきて

心配されていた天候も平穩のうち  
に、人口一、九名の約半数の出入  
により、盛会の方々に終ることが出  
来ました。皆揃えの協力を感じた  
たします。

学藝発表会。バザー。丸太切り。  
綱引き。等々晩秋の一日が楽しいふ  
れあいの場になったこと、思います。  
部対抗の勝敗の結果は次の  
通りでした。

丸太切り競技

一位助地。二位上組。三位下組。  
四位中組。

綱引き競技

一位下組。二位上組。三位中組。  
四位助地。

各部部長さん選手にちなんで  
の作戦を今のうちから……



## ●中学生の部

一年生

澄む川に二三田五六舞うおち葉

西条 秀明

夕暮れの真赤な空と赤とんぼ

有田 千夏

雪の間のしんしの兄弟せいく

道原 真十子

二年生

スケッチの色あざやかに秋を知る

神代 美奈子

山の木は色とりどりにころもがえ

松村 明

秋風に吹かれて落ちる山もみじ

小藤 明日香

三年生

澄む空に映える紅葉のあざやかに

長瀬の里に冬どちのつく

藤井 尚子

山の木々の紅葉、うつろしく

きつさら光る秋の夕ぐれ

田中 則

秋の日のくれ霞で赤とんぼ

色鮮やかな本節「さくら

谷 浩史

## ☆文化の秋です



籌案した短歌・俳  
句に小・中学の皆  
さんが協力してく  
れました。よい作  
品を発表します。  
送方は編集部全員でしました。

### ●小学生の部

一年生

とんぼりのきまゆすてみめにあたる

今田 博昭

二年生

赤とんぼとこまて行くの秋の空

真森 義章

とんぼりはボタンとおちて土の上

栗近 真一

かきの実がはいはいなって秋の色

秋吉 晋

三年生

めきましくいしん坊の天下どぞ

白石 直世

はらばらサンマを食べていっさい

高岡 亮

## ●一般の部(小学校の先生)

山肌の頬を染めたる紅葉かな

松岡 哲彦

山路行く子らも紅葉に染まりけり

伊藤 利郎

歌声の澄みし学び舎菊のおる

原あけほの杉(×××××)

学び舎の証となりし大杉の

黙してはてり雲に向かい

濱田 敏子

## グループ紹介(俳句)

### 白楊樹俳句会

毎月一回の会合で現在一九名  
の会員で楽しくやっています。  
どなたでも入会出来ます。皆  
株の入会をお待ちします。

主宰者 国繁 貢氏

## お願いとお知らせ

●中学生生徒の飼育した雀の幼

落はちあきしいな秋を見つけたよ

四年生 貞園 公秀

寒くなり小鳥のさえずりなつかしい

神代 千夏

小さな子まつかにかがやくあかもみじ

河村 知子

五年生

山赤くもめるはたれの仕事か

沢田 直子

赤とんぼ夕日の色に負けるな

山本 順子

六年生

技屋のすみだけむ紅葉より

尚あかき空 今日の日又秋

睡み目で窓を覗ければお、寒い

加井 美鈴

霜が田畑を真白く塗る

広林 孝政



虫を黒木川・筋地川に放流し  
ました(十一月初旬)川をぎれ  
いに保つようお願いします。

●児童文庫が開設されました。  
公民館文庫に幼児向図書が入り  
ました。一人二冊一週回貸し出  
します。気軽にご利用下さい。

## 慶弔近報 (敬稱略)

お悔み申し上げます  
若木タミ、七五文、十月二十五日死す。

## 行事予定表 (別刷分)

- 12月 明るい選挙推進協議会
- 2 慶弔申告相談会・民生委員会
- 4 市長と語る集い
- 8 秋連の長穂編集委員会
- 9 栄誉教室(講話更早期庫電)
- 21 小学校餅つき(老人クラブ参加)

後記  
雀の幼虫を可愛がって下さる皆様  
物を捨てないよう(向葉の折です  
皆様の充分なご自愛をお祈り  
いたします。